

国語

(小学校第5学年)

注 意

- 「はじめ」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下のらんじに、組、出席番号、名前を書きましょう。
- 「はじめ」の合図があったら、別に配られている^{かい}解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」からはじめましょう。
- 問題用紙は、全部で14ページあります。
「A問題（基本）」は、10ページで、問題は^五まであります。
「B問題（活用）」は、4ページで、問題は^二まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が25分、「B問題」が15分です。
時間に気をつけて^と解きましょう。
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きましょう。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげましょう。
問題の内容^{よう}などの質^{しつ}問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	一 二 三 四 五	25分
B問題（活用）	一 二	15分
合 計		40分

5年	組	番	名前
----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

ねずみのアナトールは、あるばん、人間の家の台所で残り物を食べていたときに、人間がねずみのことを悪く言っているのを聞いてしまいました。

家に帰るみちみち、アナトールは、すっかりあわててしまつて、さつきのできごとを、友達に話しました。ともだち

「なあんだ。そんなことか。」

ガストンは鼻の先で言いました。

「人は人、ねずみはねずみさ。ぼくらの家族だつて、ものを食わなきゃならんのだし、ねずみつてものは、人の家でしか食べ物をあされないんだぜ。」

「でも、ぼくは、人間があんな言い方をするとは、ゆめにも思わなかつたよ。」

アナトールは悲しそうに言いました。

「人から軽[※]べつされたり、のけ者にされたりするなんて、たまらないことだよ。ねずみだつて、りっぱな動物なんだ。ねずみにも、めいよつてものがある。」

ガストンは、さもなくだらないと言わんばかりに、かたをすくめました。

「そんなこと、どうだっていいじゃないか、アナトール。これが、生きていくつてことさ。」

(アナトールが家に帰つて)

ドセツトは、やさしく夫をなぐさめました。

「あなたの言うとおりよ、アナトール。」

ドセツトは、悲しそうに言いました。

「ただ、人間たちに、何かお返しができるといいんだけど――。でも、そんなこと、とても無理ね。」

アナトールは、はつととび上がつて、ドセツトを引っぱつて、部屋じゅうをおどり回りました。

「無理じゃない。無理なものかね、君。君の思いつきは、まったくすごい。」

※軽べつ・・・ばかにすること
(イブ・タイタス 田谷多枝子訳「アナトール工場へ行く」による 一部表記を改めたところがある)

問一 文章中の――線「かたをすくめました。」という表げんから、ガストンのどのような気持ちが分かりますか。最もよくあてはま

るものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ア うれしい気持ち

イ あきれる気持ち

ウ くやしい気持ち

エ すがすがしい気持ち

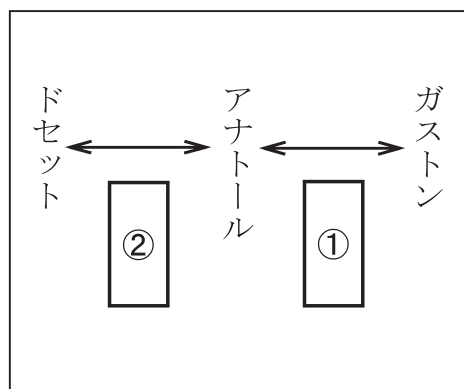
問二 文章中の登場人物はどのような関係でしょう。

①

②

にあてはまるものを、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答

えましょう。



ア 親子

イ 兄弟

ウ 友達

エ 夫婦

【二】 次の文章は、みどりさんが社会科で学習している「地いきの農業」について教えてもらうために、農業共同組合の方に書いた、いらい状です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

こんにちは。わたしは、ひなた小学校五年生の池山みどりです。いつもおいしいお米や野菜を作って、はん売してくださりありがとうございます。うございます。

わたしたちのグループでは、地いきの農業について調べて、新聞にまとめたいと思っています。① そのため、わたしたちの地いきの

② 農業の工夫や努力についてくわしく知りたいと思ったので、農業共同組合の方に教えていただきたいと考え、手紙を書きました。わたしたちのグループの知りたいことは、次の二つのことを知りたいです。

一、おいしいピーマンを作るために、農業共同組合の方はどのような工夫をしていますか。

二、安全でかんきょうにやさしい農業をするために、どのような工夫や努力をしていますか。

おいそがしいと思いますが、わたしたちの知りたいことを、ぜひ教えてください。そのときは、そちらへ直接^{ちよくせつ}うかがってもよろしいでしょうか。ご都合^{ごつうごう}をお知らせください。

とつぜんのお手紙で申しわけありませんが、よろしく願います。

平成三十年 五月二十二日

ひなた小学校 五年二組 池山 みどり

農業共同組合のみなさま

問一

みどりさんは、文章中の——線①の文章が長いので、二つの文に分けたいと思いました。て、二つの文になおしましょう。

に文と文をつなぐ言葉を入れ

そのために、わたしたちの地いきの農業の工夫や努力についてくわしく知りたいと思いました。組合の方に教えていただきたいと考え、手紙を書きました。

、農業共同

問二

みどりさんはいらい状を読み返して、文章中の——線②の文がおかしいことに気づきました。く書きなおしましょう。

に言葉を入れて、正し

わたしたちのグループの知りたいことは、

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

① どうしてみんなでいっしょに勉強するのでしょうか。学校にはいろいろな子どもたちが通っています。国語のとくいな子、体育がとくいな子、マンガが好きな子、気の強い子、泣き虫な子……。ほんとうにみんな、個性^こ豊かです。このようにせい質^しのちがう、さまざまな人やものがあることを「多様せい」といいます。

② 多様せいがあるというのは、とてもいいことなんです。たとえば、野球のとくいな子は、クラスに野球の苦手な友だちがいたら、教えてあげられますよね。反対に苦手な算数をとくいな友だちから教えてもらえます。ひとりひとりちがつているからこそ、たがいに助けあえるわけです。

③ 集団の中で、いろいろな人と関係しながらくらすことを「社会せい」といいます。新学期のクラスがえではじめていっしょになつた子と、どうやって友達^{ともだち}になりますか。また、友達とけんかしてしまったとき、どうやってなかなかおきすればいでしょう。そういう経験^{けいけん}をたくさん積んで社会せいを身につけていくことも、学校での大切な勉強なのです。

④ なぜかといえば、学校の外の世の中にはもっと多様せいがあつて、年れいも仕事もしゆ味も、人それぞれだからです。世の中をさらに広げて、日本全体や世界のことを考えてみれば、多様せいということの意味がよくわかるでしょう。世界には、肌^{はだ}やかみの毛の色、言葉、信じているしゅう教などがちがう人たちが住んでいます。自分とちがうからといって、おたがいにきらっていたら、世界中が戦争だらけになってしまいますよね。

⑤ だから、自分とちがう人がいることをみとめて、ちがいを受け入れたうえで、たがいに支えあつていくことがほんとうに大事なのです。

⑥ もちろん、だれもが、人と上手につきあえるわけではありませんが、それでも自分なりにうまくつきあう方法を覚えたほうがいいですよね。② 学校はそのためのトレーニングの場でもあるのです。

（三橋俊明 「日本のもと 学校」による 一部表記を改めたところがある）

問一 文章中の——線①「多様せい」の良さについて書かれているだん落はどのだん落でしょう。だん落番号①②③④⑤⑥から一つ選び、番号で答えましょう。

問二 文章中に——線②「学校はそのためのトレーニングの場」とありますが、「そのため」とは何のためでしょう。文章中の言葉を使い、次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 「人」、「方法」という言葉を入れて書くこと。
- 文章の最後は、「ため」という言い方で書くこと。

四

松本さんのクラスでは、国語の時間にグループで新聞を作ることになりました。次の【グループでの話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【グループでの話し合いの様子】

田村	私たちのグループでは、「読書」に関する新聞を作ることになりました。もっと学級みんなに読書に親しんでもらうためには、どのような内容にすればよいか、話し合いたいと思います。おたがいの意見をよく聞いて、進んで発言してください。
川口	私は、みんなのおすすめの本のほうがいいと思います。理由は、いろいろな本を知ることができるし、他の人が読んでおもしろかった本をしようかいすること、みんなが本を読みたくなると思うからです。
黒木	ぼくは、この学級の読書の実たいを調べて、新聞にのせるとおもしろいと思います。みんなが好きな本の種類とか、一か月にどのくらい本を読むか、などを調べたらどうでしょうか。
上原	それなら、本を読まない人の意見も聞きたいよね。そして、読まない人が本を読むためにはどうしたらいいか、図書の先生にインタビューしたらどうでしょうか。
高野	だったら、私は図書の先生へのインタビューの内容をたん当したいです。さっそくじゃんけんで決めようよ。
田村	① 待ってください。今は新聞の内容について話し合っているので、だれがどの内容をたん当するかは、内容が決定してから話し合います。今、三つの意見が出ていますが、これらの意見に対して、しつ問などはありませんか。
松本	 (松本さんの心の声) 学級の実たいは、アンケートで調べるのかな。インタビューをするのかな。 はい。() ② () さんにしつ問します。 (以下、話し合いが続く)

問一 松本さんたちは、どのような目的でこの話し合いを行っているのでしょうか。(ア)(イ) にあてはまる言葉を書き
ましょう。

学級の人みんなに (ア) ために、新聞の (イ) について話し合っている。

問二 文章中の ― 線①の田村さんの発言は、どのようなことに気をつけて発言されたものでしょう。次のア～エから一つ選び、記号で
答えましょう。

- ア みんなの意見をまとめ、決まったことをたしかめることに気をつけている。
- イ できるだけ多くの意見を求めることに気をつけている。
- ウ 一人一人の意見をよく聞き、共通点とちがう点を整理することに気をつけている。
- エ 話し合いの話題から外れないようにすることに気をつけている。

問三 松本さんは、この話し合いを聞きながら、次のように考えていました。



(松本さんの心の声)
学級の実たいは、アンケートで調べるのかな。インタビューをするのかな。

松本さんがこの疑問をかい決^{ぎもん}するためには、だれにしつ問すればよいでしょう。(②) にあてはまる名前を書きましょう。

五 次のそれぞれの問いに答えましょう。

問一 次の(1)～(6)の——線の漢字はひらがなになおし、ひらがなは漢字になおしましょう。ただし、漢字になおすとき、送りながあ
るものについては、送りがなも書きましょう。

- (1) 父は、毎朝さんぽをする。
- (2) ゲームに勝つてとてもよろこぶ。
- (3) 百メートルきょうそうに出場する。
- (4) ひなが巣立つ。
- (5) 私のしゅ味は楽器をかなでることだ。
- (6) たん生日のお祝いをする。

問二 次の——線の言葉をローマ字で書きましょう。

わたしは、毎月貯金ちよきんをしている。

問三 次のア、イの漢字の黒くぬった部分は、何画目に書きますか。数字で書きましょう。

ア 博

イ 兆

問四 次の文の——線ア～カの中から、主語と述語をそれぞれ選び、記号で答えましょう。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
公園の						
水飲み場で、						
上野さんが						
おいしそうに						
水を						
飲んで						
いる。						

B 問 題

(十五分)

□ 次は、お楽しみ係の山田さんたちは、お楽しみ係からのお知らせの下書きをし、それがみんなにとって分かりやすいかを話し合いました。次は、【お楽しみ係からのお知らせの下書き】と【係での話し合いの様子】です。

【お楽しみ係からのお知らせの下書き】

お楽しみ係からのお知らせ 次回の「みんなで遊ぶ日」の計画です。次のことをかくにんしてください。 1 遊ぶ日、遊ぶ時間、遊ぶ場所 ○ 4月27日(金)の昼休み 運動場 2 遊び ○ 長なわ 3 遊び方 ○ 学級全員で長なわに3回チャレンジして、1回は5分間で、5分間に何回とべるか数えて、なわを回す人は1回目が野田さんと赤池さん、2回目は大野さん、森さん、3回目は高山さん、南さんです。

【係での話し合いの様子】

島田	川上	青木	白木	石山	山田
たしかに、分かりにくいね。書きなおそうよ。	もう一ついいかな。遊び方の説明が分かりにくくないかな。	そうだね。お知らせの内容に付け加えよう。	二人が言ったことはこの前の課題 かだい だね。これらの課題を解決 かいけつ できるようにしたいな。	運動場に出た後、集合場所が分からない人もたくさんいたよ。	この前の「みんなで遊ぶ日」は、集合時こくにそろわなかったよね。

山田さんたちは、話し合いをふまえて、次のように清書をしました。【お楽しみ係からのお知らせの清書】を読んで、下の問いに答えましょう。

【お楽しみ係からのお知らせの清書】

お楽しみ係からのお知らせ

次回の「みんなで遊ぶ日」の計画です。次のことをかくにんしてください。

1 遊ぶ日、遊ぶ時間、遊ぶ場所

- 4月27日（金）の昼休み 運動場

2 ①

- 午後1時15分

3 ②

- 運動場の鉄ぼうの前

4 遊び

- 長なわ

5 遊び方

- ③
- 1回のチャレンジは5分間で、5分間に何回とべるか数えます。
- なわを回す人は次のとおりです。

回	なわを回す人	
1回目	野田さん	赤池さん
2回目	大野さん	森さん
3回目	高山さん	南さん

問
二

③

にあてはまる文を書きましょう。

問
一

①

②

にあてはまる言葉を書

きましょう。

【中田さんのメモ】
中田さんは、読書に関する先生の話聞き、メモを取りました。【先生の話】、【中田さんのメモ】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【先生の話】

宮崎県は、いつでも、どこでも、だれでも、子どもから大人まで、※生涯にわたって広く読書に親しむ「日本一の読書県」を目指しています。

みなさんは、読書にはどんなよさがあると思いますか。読書することで、多くの言葉や知しきを与えることができます。と同時に、文章を読み取る力や想ぞう力を高めることができます。読書することで、これからの人生を生きっていく上で必要なものを身に付けることができるのです。

読書をする機会をふやすために、みなさんに取り組んでほしい二つのことを話します。一つめは、いつでも手元に本があるようにしておくことです。身近に本があることで、本を読みたい時にすぐに読むことができます。二つめは、本を読む時間をつくることです。短い時間でもいいので、読書をする時間をつみ重ねていくことが大切です。

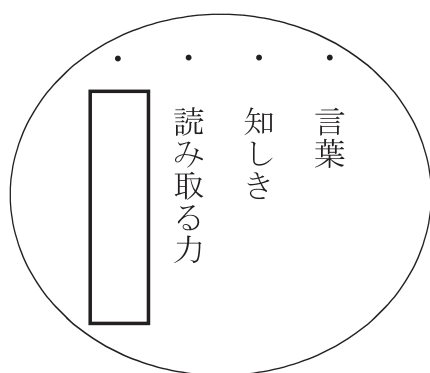
この二つに取り組み、みなさんが読書に親しんでもらえるとうれしいです。

※生涯・・・一生の間

【中田さんのメモ】

○ 宮崎県は日本一の読書県を目指している。

○ 読書のよさ



人生で必要なものを身に付けられる。

○ 先生からのアドバイス

- ・ いつでも手元に本があるようにする。
- ・ 本を読む時間をつくる。

問一 中田さんのメモにある の中に入る言葉を書きましょう。

問二 先生の話の後、中田さんのクラスでは、読書の機会をふやすために取り組みたいことを一人ずつ発表することになりました。あなたならどんな発表をしますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】

- 先生からのアドバイスをもとに、自分が取り組みたいことを具体的に二つ以上書くこと。
- 七十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

